

関西学生リーグ戦開催に向けた新型コロナウイルス感染症拡大防止 対策／実施マニュアル

2021年6月20日
関西学生ボクシング連盟

目次

1. 事前対策
 - i. 罹患者が出た場合
 - ii. PCR 検査実施
 - iii. 健康申告書、新型コロナウイルスに関する健康申告書、健康チェックシートの記入、参加承諾書（保護者の承諾）の記入、PCR 検査陰性証明書
 - iv. 生活態度に対する注意事項
 - v. 連絡手段等
 - vi. その他
2. 大会開催当日対策
 - i. 会場への入退場
 - ii. リング設営
 - iii. 検診計量
 - iv. 待機
 - v. ウォーミングアップ
 - vi. 競技中
 - vii. リング撤去
3. 大会開催後対策
 - i. 書類の管理
 - ii. 感染者が出た場合の対応
4. 署名欄および違反に対する罰則について
 - i. 署名欄
 - ii. 違反に対する罰則について

1. 事前対策

i. 罹患者が出た場合

・試合予定日2週間前から試合予定日までの間に罹患者が発生した場合

- ① 保健所に通知し、当該大学の指示に従う
- ② 当該校の出場不可

(大会1週目に罹患者が出た場合、その後の試合の出場可否はPCR検査の結果等で相澤関西連盟医事委員長が総合的に判断する)

- ③ 会場への入場禁止
- ④ 小路運営委員長、細畠学連委員長、相澤関西連盟医事委員長に通知する

ii. PCR検査実施

・選手、セコンド、審判員(レフェリー、ジャッジ)は大会開催当日の96時間以内にPCR検査を実施する

・大会開催当日の96時間以内のPCR検査の結果、陽性者が発生した場合

- ① 保健所に通知し、当該大学の指示に従う
- ② 当該校の出場不可
- ③ 会場への入場禁止
- ④ 小路運営委員長、細畠学連委員長、相澤関西連盟医事委員長に通知する

iii. 健康申告書、新型コロナウイルスに関する健康申告書、健康チェックシート、参加承諾書(保護者の承諾)の記入、PCR検査陰性証明書

・入場者はそれぞれの立場に必要な書類(下記5点)を大会開催当日までに準備する。健康チェックシートは2週間前から毎日体温を計測、記入すること

書類	提出者
健康申告書	エントリーメンバー
参加承諾書(保護者の承諾書)	エントリーメンバー (未成年のみ)
新型コロナウイルスに関する健康申告書 健康チェックシート	入場者全員
PCR検査陰性証明書	エントリーメンバー セカンド(チーフ、サブ、 アシスタント)

iv. 生活態度に対する注意事項

・大会開催まで、および大会開催期間中にソーシャルディスタンスが確保できない場所へは不要不急の用件以外は出入りしない

※ソーシャルディスタンスとは、個人間の距離2mと定義されています(アスリート・チーム役員公式プレイブックより)

- ・マスク・手指の消毒を日常生活でも励行する
 - v. 連絡手段
 - ・大会準備/大会期間中/大会終了後の報告、連絡、相談、会議は全てオンラインで行う
 - vi. その他
 - ・開会式・閉会式は行わない
 - ・入場者数制限（各大学最大 30 名：QR コード発行数最大 30 枚）
 - ※入退場の制限・記録に関しては別紙参照
 - 選手、運営に関わる者以外の入場禁止、報道機関のみ可
 - 検診/計量・競技のセッション制を導入
 - ・KBS ホールはホール全体を 10 分で空気入替可能な換気システムがあるので、適宜その喚起システム稼働する
2. 大会開催当日
- i. 会場への入退場
 - ・入場者全員の検温（非接触型体温計）
 - ・入場者全員の手指消毒（再入場時含む）
 - ・競技時、再入場は禁止（トイレ、忘れ物を除く）
 - ・会場内はマスク着用
 - ・学連は入場列、退場列の間隔を指定するテープを貼る
 - ・入場者（退場者）は入場列（退場列）の線以内に近づかない（ソーシャルディスタンスの確保）
 - ・入場列（退場列）に並んでいる際は会話禁止
 - ・学連は会場に受付 3 名を開場から閉場まで常時設置し、検温、消毒、入退場の記録を残す
 - ※入退場の制限・記録に関しては別紙参照
 - ii. リング設営
 - ・リング設営に携わる業者さん/学連の入退場の履歴は点呼時に 1 度だけとする（作業の遅延になるため、またメンバー/人数が限定されているため）
 - ・学連は業者さんの指示に従い、密になる、大声を出すなどの行為をしない
 - ・学連は検診・計量用の 2m 間隔の並び位置をテープでマークする
 - ・リング周りのジャッジ、DS、ドクター、記録員、審判員控え席などは 2 m 以上の間隔をあけて設営する
 - ・学連はドクター席前、計量する席にアクリル板を設置する
 - iii. 検診計量
 - ・検診計量に関係のない選手は検診計量の時間に会場に来ない（サポート

の選手（2名）は控室のみ入場可能）

- ・選手は所属大学の検診計量時間に遅れない
- ・選手は到着したら、自大学の控室に待機する
- ・選手は当該時間になっても、学連の指示があるまで控室で待機する
- ・通常、選手9名+補欠7名で検診計量を行うが、選手9名+補欠2名で行う
- ・学連は検診計量後、2m 間隔の応援位置をテープでマークする

iv. 待機

- ・学連は各大学にごみ袋を複数枚渡す
- ・競技会場での飲食は厳禁
- ・試合の対戦表は LINE グループにて送付

v. ウォーミングアップ

- ・試合の進行はセッション制を敷いているので、入退場は係員の指示に従う
- ・試合前の動的ウォームアップ（シャドーボクシングやミット打ち）は指定の場所でのみ行い、十分なスペースを確保する
- ・シャドーボクシングは他の選手と対面になって行わない
- ・ウォームアップのためのマスボクシングは禁止
- ・選手は飲み物・タオルを各自で持参、使いまわしはしない
- ・試合前のグロービングなど選手の準備は密にならないよう注意する

vi. 競技中

- ・試合の進行はセッション制を敷いているので、入退場は係員の指示に従う
- ・選手は飲み物・タオルを各自で持参、使いまわしはしない
- ・選手はリング上のみマスクを外すことができる
- ・応援は立ち位置（2m間隔のマーク）を守り、拍手のみの応援とする（声による応援は禁止）
- ・赤/青コーナーにうがい用水は置かない。各選手が持参した水を使用し、他選手との共有はしない
- ・うがいは禁止とする
- ・セコンドは選手に声を掛けることは可能（大声での応援は禁止）
- ・セコンドがインターバル中にタオルで送風することは禁止
- ・セカンド・レフェリーはマスク、ビニール手袋を着用する。手袋の使用は一競技に一雙準備する
- ・セカンドが FOP（Field of Play）エリア内で使用した手袋は FOP エリア外に出る前に外し、FOP エリアの出口に設置したゴミ袋内に処分する。セ

コアンドは手袋を外した後にアルコール性消毒液で手指消毒を行う

- ・判定が宣言された選手は一礼のみで退場する。選手間の握手、セカンドとの握手はなしとする
- ・学連はグローブ・コーナーポスト・ロープを一試合ごとに消毒する
- ・学連はアナウンスマイク・ストップウォッチ・ゴング機材を担当者交代ごとに消毒する
- ・試合の判定結果は LINE グループで送付する
- ・選手は競技終了後、速やかに応援エリアに移動する
- ・学連は自校の競技終了後に大学ごとにソーシャルディスタンスを守りながらそれぞれの控室に戻るよう指示を出す

vii. リング撤去

- ・ごみは各大学で分別・密閉して、指定のゴミ処理場へ廃棄する。分別や密閉の方法、ゴミ処理場の詳細は別紙に記載する（作成中）。クローバーボックスジムで開催の際は、自宅まで持ち帰る
- ・リング設営と同様、入退場の履歴は点呼時に 1 度だけとする。また学連は業者さんの指示に従い、密になる、大声を出すなどの行為をしない

3. 大会開催後対策

i. 書類の保管

- ・選手や競技関係者、審判員から受領した書類（健康申告書等）を大会終了後 1 か月は保管する

ii. 感染者が出た場合の対応

- ・学連は入出場記録から当該感染者と濃厚接触者と認められる者を特定し、その者が所属する大学の指導者に迅速に連絡をする
濃厚接触者とは：新型コロナウイルス感染症と診断された患者と以下のような状況で感染可能期間に接触した者とされています
- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等）があった者
- ・適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者（確定例）の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手で触れることのできる距離（目安として 1 メートル）で、必要な感染予防策無しで、患者（確定例）と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況周辺の環境や 接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

日本医師会 web サイトより

※入退場の記録に関して

- ・入退場を管理する入口は1カ所とする（その他の入り口は閉鎖）
- ・入退場する選手、補欠部員、指導者、連盟役員、審判員、業者さんは事前に登録した者のみ入退場可能とする
- ・事前登録した者には1人1つQRコードを発行する
- ・受付にて専用端末でQRコードを読み込むことにより入退場の記録をつける
- ・新型コロナウイルスに感染した者がした場合、該当者と誰が会場内にいたかを特定することができる

QRコード入退場管理システム概要図

- ① 入場者は事前に「所属組織」「氏名」「メールアドレス」を学連に通知する。
通知があったメールアドレスに各人専用のQRコードが配布される。
当日はスマホ、もしくはQRコードが印刷された紙を持参する。
配布するQRコードは1大学に対して最大30までとする。

- ②入退場者は受付を通るたびにQRコードを提示



- ③受付は専用端末でQRコードを読み込み



	A	B	C	D
1	タイムスタンプ	審判員氏名	所属大学	入退場
2	2021/07/04 8:59:58	山田一郎	浪速大学	入場
3	2021/07/04 9:01:58	佐藤二郎	浪速大学	入場
4	2021/07/04 9:04:36	山田一郎	浪速大学	退場
5	2021/07/04 9:05:56	松本史郎	浪速大学	入場
6	2021/07/04 9:10:12	大谷五郎	浪速大学	入場
7	2021/07/04 9:11:59	大西六郎	浪速大学	入場
8	2021/07/04 9:12:45	藤井七郎	浪速大学	入場
9	2021/07/04 9:15:34	中西八郎	浪速大学	退場
10	2021/07/04 9:16:35	中山九郎	浪速大学	退場
11	2021/07/04 9:17:40	山崎十郎	浪速大学	入場
12				

- ④サーバーでデータを記録する